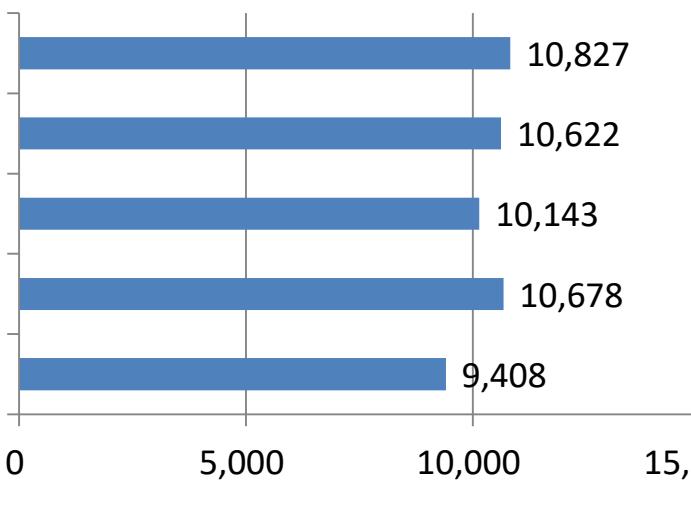


## 10 手術技術度DとEの手術件数

解説	<p>国立大学附属病院は急性期医療の要であり、外科治療の能力が必要です。この指標は、単に手術件数だけでなく、どの程度難しい手術に対応できるのかを表現する指標です。手術の難しさと必要な医師数を勘案した総合的な手術難度を技術度といいますが、外科系学会社会保険委員会連合の試案では、2000種類余りの手術をそれぞれ技術度AからEまでの5段階に分類しています。技術度D及びEには熟練した外科経験を持つ医師・看護師や器具が必要なので、難易度の高い手術といえます。</p>												
実績	 <p>A horizontal bar chart showing the number of surgeries for Technical Grade D and E from Heisei 28 to Reiwa 2. The x-axis represents the number of cases (件) from 0 to 15,000. The y-axis lists the years: Heisei 28, Heisei 29, Heisei 30, Reiwa 1, and Reiwa 2. The bars are blue.</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>10,827</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>10,622</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>10,143</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>10,678</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>9,408</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成28年度	10,827	平成29年度	10,622	平成30年度	10,143	令和元年度	10,678	令和2年度	9,408
年度	件数												
平成28年度	10,827												
平成29年度	10,622												
平成30年度	10,143												
令和元年度	10,678												
令和2年度	9,408												
定義	<p>DPCデータを元に算出した、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案(第8版 平成23年12月, 第9班 平成29年11月)」において技術度D及びEに指定されている手術の件数です。1手術で複数のKコードがある場合は、主たる手術のみの件数とします。</p>												